南あわじ市

議会だより

第77号

令和５年４月30日発行

南あわじ市斎苑　桜花の郷（令和５年４月１日供用開始）

主な内容

- 予算審査特別委員会など …… P２～７
- 第118回定例会の結果 …… P８～12
- 一般質問 …… P13～21
- 委員会調査レポート …… P22
- 市民ギャラリーほか …… P24

南あわじ市議会ホームページ

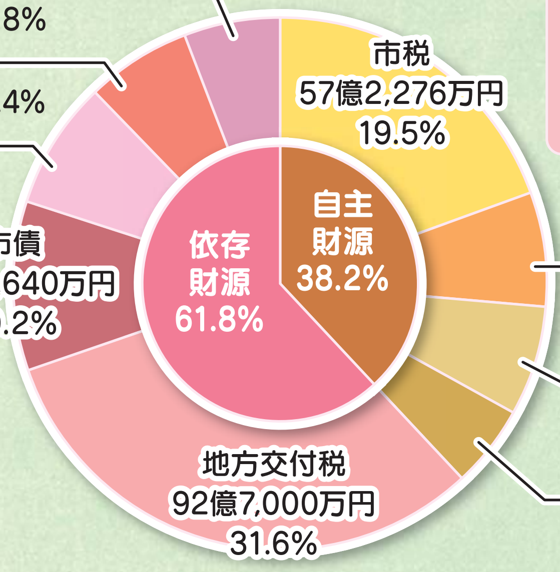
マチイロ

南あわじ市議会YouTube

https://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/site/gikai/

子育ての喜びが見えるまちの実現
新型コロナ禍からの再始動

歳入
293億4,000万円



自主財源

市税 57億2,276万円
市民税や固定資産税など。
【前年度比 +3.0%】

繰入金 20億6,018万円
基金（市の貯金）の取り崩しなど。
【前年度比 +16.7%】

寄附金 20億200万円
ふるさと納税など。
【前年度比 +32.4%】

その他 14億2,547万円
貸付金元利収入や預金利子、公共施設の使用料など。
【前年度比 +0.04%】

依存財源

地方交付税 92億7,000万円
地方の財源の均衡を図るため国から交付されるお金。
【前年度比 +0.2%】

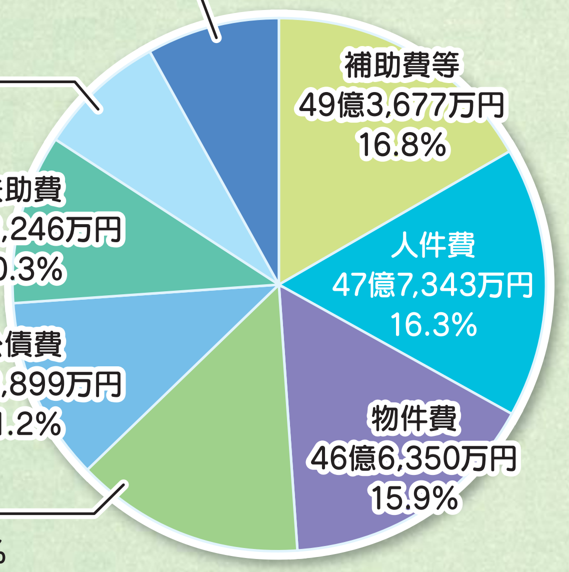
市債 29億9,640万円
事業をする際に銀行等から借りるお金。
【前年度比 −16.7%】

国庫支出金 22億8,854万円
事業に対する国からの補助。
【前年度比 −7.5%】

県支出金 18億8,965万円
事業に対する県からの補助。
【前年度比 −4.4%】

その他 16億8,500万円
地方消費税交付金など。
【前年度比 +7.5%】

歳出（性質別）
293億4,000万円



補助費等 49億3,677万円
市内の団体への補助や一部事務組合への負担金の経費。
【前年度比 +4.2%】

人件費 ※1 47億7,343万円
市の職員の給与や議員、会計年度任用職員、審議会等の委員の報酬など。
【前年度比 −0.7%】

物件費 46億6,350万円
市の経費のうち、人件費、扶助費、維持補修費などを除く、消費的性質もつ経費。
支出の効果が単年度または極めて短期間でおわるもの。
【前年度比 −9.5%】

普通建設事業費 40億3,899万円
道路・橋りょう、学校、庁舎等公共又は公用施設の新増設等の建設事業に要する経費。
【前年度比 +2.2%】

公債費 ※2 32億8,899万円
市債（市の借金）を返済する元利償還金（元金と利子）と、一時的な借入れの支払利息。
【前年度比 −1.1%】

扶助費 ※3 30億3,246万円
社会保障制度の一環として現金や物品などを支給する経費。
【前年度比 −2.8%】

繰出金 22億8,208万円
一般会計、特別会計及び基金の間で、相互に資金運用をするための経費。
【前年度比 +4.5%】

その他 23億2,378万円
維持補修費、予備費、積立金、投資・出資・貸付金、災害復旧事業費など。
【前年度比 +26.4%】

義務的経費とは… 歳出のうち、※1人件費・※2公債費・※3扶助費の合計をいい、支出が義務的で任意では削減できない。この義務的経費の割合が小さいほど財政の弾力性があり、比率が高くなると財政の硬直度が高まる（財政に余裕がない）ことになります。

予算審査特別委員会

【日程】令和5年 3月 10・13・14・15日
委員長 土井 巧
副委員長 北条志津子
委員 議長を除く全議員

一般会計審査報告

■主な質疑

▼若者応援ふるさと便配送業務委託料

素晴らしい事業を行っているので、広く使いやすいように、WEB申請だけでなく、市民交流センターで申し込みができるようにしたり、意見を書く欄を作るなど、前向きに対処していただきたい。

▼男女共同参画啓発業務委託料

計画期間が5年と長く、その間に情勢が変化すると思うので、年度ごとに検証していき、行動指針などを出していただきたい。

▼自治会加入促進事業補助金

自治会未加入により、行事の案内が子供に届かないことは問題である。自治会の加入率、自治会費などの実態調査を十分に行い、実態を把握した上で取り組んでいただきたい。

▼地域の担い手づくり事業補助金

観光事業、渦潮世界遺産、観光と農業を繋げた事業を立ち上げるなど、いろいろなことが考えられるが、地域づくり協議会の枠にとらわれず、市内全域にわたっての事業について、新しい発想をもってくれるような担い手づくりにしてほしい。

▼縁結び事業推進協議会補助金

イベントなどはボランティアに頼っており、行動範囲も限られてきている。休日に相談に行きたくても、市役所は閉まっており相談できない。その辺を解消するよう、専従のアドバイザーを置くべきである。

▼多世代同居・近居支援事業補助金

できるだけ多くの方に知っていただき、補助金が使いやすいよう融通もきかせて、市民の方の意見も聞き、支援を拡充していただきたい。

▼保育所等の砂場検査管理委託料

市で管理している砂場の細菌検査がどの深さまで検査しているのか確認すべきである。また、安心した子どもの発育のためにも、今後定期的に安全な砂を底から入れ替えることも検討してほしい。

▼移住保育士就労支援一時金

南あわじ市で保育士として働きたいという方を採用していただきたい。また、移住も大切であるが、1年、2年で出ていかれる可能性もある。3年、5年居住するといった条件を今後考えていただきたい。

▼子育て応援コンソーシアム運営支援業務委託料

子育てに優しい企業であるとホームページ等で公表する形を取ること。また、子育てに役立つ企業の取組を具体的な項目として示し、それを確認するような仕組みを検討してほしい。

▼がん患者アピアランスサポート事業補助金

対象者の中にはなかなか声をあげられない方もいるため、広報とホームページで掲載し、広く周知していただきたい。

▼新型コロナウイルスワクチン接種送迎業務委託料

65歳以上の高齢者については、1年に春と秋の2回接種するとの方針だが、高齢者の場合は集団接種も視野に入れて、会場設定をお願いしたい。

▼火葬場指定管理料

公共サービスであることに変わりはないので、しっかりと住民の目線に沿って、施設の運営に目を配り、上手くコミュニケーションをとって、質の向上に努めてもらいたい。

▼下水放流施設定期整備工事費

定期整備工事で、活性炭を1年に1回定期的に取り替えるとのことだが、劣化の状況等を点検、確認しながら、長く使用できるようであれば1年半や2年で取り替えることも考えていただきたい。

▼食の拠点施設フードコート整備負担金

美菜恋来屋は、新鮮な食材を扱っているため、フードコートを整備し、様々なイベント、活動を通した試食をすることで、より調理意識が高まると思う。効果的なやり方で進めていただき、皆さまが集える施設にしていただきたい。

▼淡路瓦ブランド形成支援事業補助金

生産原価が上がり経営が厳しい中、販路拡大ができる環境づくりなど淡路瓦工業組合が行う。産地としての売り方、宣伝など、活発な議論を行い、南あわじ市も一緒に入り、応援していただきたい。また、市の公共事業の発注には、淡路瓦を使うというスタンスを持っていただきたい。

▼産業活力アップ起業支援事業補助金

起業を考えている市民の方、南あわじ市で起業するために移住を考えている方が少しでも利用しやすいような体制をとっていただきたい。また、申請等の簡素化を求めたい。

▼広域ブランディング業務委託料

南あわじ市と鳴門市が連携し、豊富な農畜産物で生み出される食文化、自然を生かした資源など、魅力を磨き上げ、観光の新しい切り口を開発するということである。これから大鳴門橋の自転車道の整備が動き出すため、それをきっかけとした両市の新しい観光の目玉として進めていただきたい。

▼灘黒岩水仙郷管理費

灘黒岩水仙郷のリニューアル工事をすることで、集客が期待でき、淡路全体の観光のイメージアップに繋がるが、水仙郷のうち、民地である南斜面が外れているのは今後の課題である。また、毎年たくさんの球根を確保し、広く水仙が咲くよう取り組むべきである。灘黒岩水仙郷を地域連携型の施設として、淡路島の観光の目玉として、どんどんPRしていただきたい。

▼地域公共交通推進費の公用車購入費

マイクロバスタイプのEVバスを2台購入し、コミュニティバスとして走行する計画である。EVバスで南あわじ市は脱炭素に向け、頑張って取り組んでいるということを、バスのデザイン等も含め、積極的にアピールし、進めていただきたい。

▼車両免許取得補助金

免許の取得補助は非常に魅力的な補助で、若い団員の確保、消防団加入促進につながる。消防活動に必要不可欠な免許なので、団員に周知を徹底し、積極的に推進していただき、消防団の能力、機動力確保のために頑張っていただきたい。

▼避難路整備工事費

今後30年以内に南海トラフ巨大地震の発生する可能性が70%から80%と言われているため、予算を余すことなく、できるだけ早くに工事を実施していただき、無駄なく十分な施工をしていただきたい。

▼子どもの第三の居場所運営業務委託料

不登校などの課題を抱える児童、生徒が安心して通うことができる第三の居場所を、学ぶ楽しさ支援センター内で開始する。新しい試みであるため、いろんな課題等も見つかってくると感じる。教育委員会や関係者などと十分連携をとりながら、少しでも多くのお子さんが、学ぶ楽しさを味わえ、自立に向かって、次のステップへ進むことができるような施設運営を目指してほしい。

▼小学校民間プール活用事業

市内の指定管理施設であるサンプール、ゆとりっくを活用し、一部地域の小学校の水泳授業を行うということである。淡路島の子どもにとって、水泳は必須であると思うため、全ての子ども達が水泳の授業を受けられ、最低限の泳力が身につくよう、新年度だけでなく、事業が継続するよう進めていただきたい。

■討論

反対 吉田 良子 議員

討論要旨

物価高騰が市民生活を直撃、さらなる支援策が必要だが継続事業のみである。高校生まで医療費助成の拡充は保護者の願いだが所得制限を設けたこと。学校給食の無料化、中学校入学祝金の復活など教育予算が不十分。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

特別会計審査報告

下水道事業会計予算

高齢者世帯の家庭が増える中、工事が遅れるほど、浄化槽から下水道へのつなぎこみが遅くなる。早期接続ができるよう工事を進めていただきたい。また、統廃合により使わなくなった下水道施設については、放置せず、地元の希望を聞き、しっかりとした跡地利用活用を進めていただきたい。

議案審査でこんな議論をしました

第117回 臨時会
1月20日～1月26日

新火葬場建設工事請負変更契約の締結

■議案内容

残工事に対する公共工事の労務単価等について、適正な賃金水準及び物価水準の見直しを行った結果。

請負契約金額が増額となることから、契約の変更を行うもの。

太田土建株式会社との契約を１３９２万７１００円増額し、９億１３５１万円で契約。

■主な質疑

問 全体スライドにしたのは市からの提案なのか。

答 受注者の選択である。

問 作業員の労務単価は、物価本それとも県の労務単価を参考にしたのか。

答 物価本の単価を採用した。

問 残工事の計算は、市が精査するのか。

答 当工事は工程会議を2週間に1回行っており、受注者と市及びコンサルで、残工事の部分を協議確認し決定した。

問 受注者は、契約時点で部材資材等を早期に確保しているものではないのか。

答 今回は注文したときの値段ではなく、納品時の単価を採用している。

問 工期変更の理由は。

答 本臨時会で承認を得るために工期を1月末まで延ばした。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

議決結果一覧

■全議員賛成の議案

提出者	議案名	議決結果
市長	損害賠償額の決定及び和解の専決処分	承認

■賛否の分かれた議案

議長は表決に加わらない。（○は賛成、×は反対、－は欠席）

提出者	議案名	議決結果	大江 幸司	熊田 司	阿部 守	谷口 博文	印部 久信	土井 巧	蔭山 順子	久米 啓右	原口 育大	中村 三千雄	吉田 良子	北条 志津子	廣内 孝次	長江 和代	木場 徹	蛭子 智彦
市長	新火葬場建設工事請負変更契約の締結	原案可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案の審査報告

令和4年度一般会計補正予算（第8号）

■議案内容

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ5億5134万9千円を減額。

■主な質疑

▼大学入学奨励金1348万3千円の減額

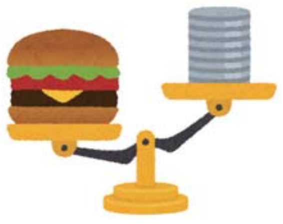
問 減額になった理由は。

答 入学者67名分を予算計上していたが、令和4年度の申請者が21名だったため減額となった。

▼物価等高騰対策生活応援給付1400万円の減額

問 減額になった理由は。また、未申請世帯への対応は。

答 対象を、7800世帯と想定していたが、7240世帯に確定したため減額する。未申請世帯に対しては、広報紙、ホームページなどを通じて申請勧奨を図った。



▼道路新設改良費、物件移転補償費4600万円の減額

問 どこの路線でどのような物件の移転費なのか。

答 徳長国衙線で、国道端にある物件である。

▼埋蔵文化財費委託料1億1100万円の減額

問 減額の理由は。

答 県のほ場整備が減ったことにより、調査面積が減り減額となった。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例制定

■議案内容

地域における雇用の創出、地域資源を活用した商品開発、まちなかにおいて生じる居住者及び来訪者の減少並びに空き家増加等の課題に対する取り組みを支援する「一般財団法人 地域総合整備財団」に職員を派遣することができるよう本条例に規定を追加するもの。

■主な質疑

問 派遣の目的と期間は。

答 目的は各地域における課題や取り組みに直接現場等で触れ、幅広い知見を習得することであり、期間は原則2年である。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定

■議案内容

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（平成25年法律第27号）第9条第2項の規定に基づく個人番号の利用範囲に、同法に定める事務のほか、市が独自で個人番号を利用する事務を加えるため、所要の改正を行うもの。

■主な質疑

問 この改正は情報収集を効率的にしていくものか。

答 申請者の課税情報入手、提出する手間を省き、証明書発行手数料が軽減される。行政側の所得審査を容易にする改正である。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

火葬場条例の一部を改正する条例制定

■議案内容

沼島火葬場を廃止することに伴い、名称及び位置を定めた表の改正及び動物死骸の焼却施設を明記することで適切な維持管理を行うため、所要の改正を行うもの。

■主な質疑

問 令和5年度予算編成時に方針が決まっていたのか。

答 新火葬場（桜花の郷）の建設もあり、令和4年6月以降沼島地区と協議を重ね、同年12月に沼島地区連合自治会の了承を得て、令和5年1月に沼島地区全世帯に文書で周知した。

問 現状の条例に動物炉の記載がないが、今回改正するのか。

答 動物炉については、一般廃棄物処理計画に明記されており、法的に問題はないが、より丁寧な条例とするため、動物炉の設置とその手数料について明記している。

■委員間討議

動物を一般廃棄物と明記してあり、動物愛護の精神が欠如している。動物炉があるので、それに沿った条例にして欲しかった。火葬場条例の中に廃棄物処理手数料徴収条例ではなく、ペット葬もできるような条例に改正してもらえたらよかったとの意見。

■討論

反対 原口 育大 議員

討論要旨

一般廃棄物として動物を焼却するのは、神聖な場所である火葬場を愚弄する行為だ。動物炉使用料に一般廃棄物処理手数料徴収条例を適用するといった変則的なことは止め、動物炉使用料を火葬場条例に定めるべきである。

■議決結果

賛成多数で原案可決

障害者見舞金支給条例の一部を改正する条例（対象者を「重度障害者」に変更）

■議案内容

障害者総合支援法に基づき障害福祉サービスが整備されてきていることから、当該見舞金制度の在り方を見直し、対象者を変更するもの。

■主な質疑

問 対象者が約2200人から半分の約1100人程度になるが、改正の主たる理由は。

答 平成25年の障害者総合支援法の施行による福祉サービスの充実、医療的ケア児支援等本市での施策等社会情勢やニーズに応じるため。

問 令和6年4月1日からとのことだが、対象ではなくなる方へはどのように説明するのか。

答 令和5年度の支給の際に令和6年度以降の改正内容を通知するとともに、ホームページやケーブルテレビ、当事者団体との意見交換会で周知する。

■討論

反対 吉田 良子 議員

討論要旨

市のアンケートで「住み慣れた地域で生活するための必要な支援」では「経済的負担の軽減」が身体、精神障害者で過半数をしめている。物価高騰の中で見舞金の増額が必要な時に、対象者を減らすことは認められない。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

敬老祝金支給条例の一部を改正する条例制定

■議案内容

多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿のお祝いをより明確化することから、対象者と支給金額を見直すもの。

■主な質疑

問 節目の年に限定して支給することになるが、これに代わる具体的な施策は。

答 令和5年度の新たな取り組みとしてフレイル予防関係施策、社会福祉士の増員、訪問入浴サービス利用時の交通費実費負担の助成、高齢者世帯のゴミの軒先収集、スマホ・タブレットの使い方出張支援などを準備している。

問 周知方法は。

答 令和5年度の支給の際に令和6年度以降の改正内容を通知するとともに、ホームページやケーブルテレビ

等で、周知する。

問 老人クラブ等にも説明会か意見交換会を予定しているか。

答 本改正について、理解いただけるよう役員会等において趣旨を説明したい。

■討論

反対　蛭子　智彦　議員

討論要旨

毎年、3000円をもらえると楽しみにしている高齢者の内86％に当たる4700名がもらえなくなる改悪。節目にもらう金額が増えたとしても高齢者は納得できない。高齢者軽視の改悪に反対する。

■討論

賛成　長江　和代　議員

討論要旨

社会福祉士、栄養士を雇用し、フレイル予防などを推進する。そのため縦割り行政ではなく横のつながりを重視した総合プロジェクトを立ち上げる予定。私達皆でこのプロジェクトを、市が何をやっているか、一緒に市政を見ていきませんか。

■討論

賛成　原口　育大　議員

討論要旨

人口減少と高齢化の進展に伴い増嵩してきている祝金予算の使途を見直すものであり、フレイル予防など健康寿命延伸に効果的な施策の充実などにより、健康で元気な状態で節目の祝金をもらえる人が増えることを期待する。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

ザ・チャレンジ!!

淡路ファームパークイングランドの丘条例の一部を改正する条例制定

■議案内容

仕入れ価格の高騰等に対応するため、入園料の改正を行うもの。

■主な質疑

問 入園料を「大人2000円、小人1000円」とする改正であるが、実際の運用は市外の方で大人の入園料は1200円くらいからはじまるので、「上限を2000円とする」という一文が必要ではないか。

答 同施設条例第18条第3項に、「額の範囲内で、指定管理者があらかじめ市長の承認を受けて定めるものとする」と規定されている。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

灘黒岩水仙郷施設整備工事請負契約の変更契約の締結

■議案内容

株式会社森長組との契約を1837万1100円増額し、4億1217万1100円で契約。

■主な質疑

問 工期延長の理由は。また、今後、さらに延長する可能性はあるのか。

答 法面建築確認申請等で、審査機関日本ERI株式会社との調整に時間を要したため延長となった。また、令和5年12月に水仙郷がオープンするので、今後、延長になったとしても、1ヶ月程度の予定。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

灘黒岩水仙郷外構整備工事請負契約の締結について

■議案内容

入谷緑化土木株式会社と3億5千2百万円で契約。

■主な質疑

問 屋外トイレは、この契約に入っていないのか。

答 入っていない。屋外トイレは令和5年度2月中旬から令和6年度にかけて工事する予定。

問 南斜面は見えなくなるのか。今後どうなるのか。

答 南斜面は土地の整理ができておらず、整備の予定がない。今後どうしていくか、継続的に検討、研究していく。

■議決結果

賛成多数で原案可決。

人事案件〔敬称略〕

■固定資産評価審査委員会委員の選任

同意　小島　一
同意　山﨑　茂樹
同意　秦　紳一郎
同意　藤本　昇
任期　令和５年４月１日～令和８年３月31日

■教育委員会委員の任命

同意　敷田久美子
任期　令和５年３月31日～令和９年３月30日

■人権擁護委員候補者の推薦

適任　山本　壽美
適任　酒井　義夫
任期　令和５年７月１日～令和８年６月30日

消費者被害を防止、救済するため特定商取引法の抜本的法改正を求める請願

請願は採択

■請願内容 特定商取引法の2016年改正の際、５年後見直しが定められ、2022年12月に５年の経過を迎えた。超高齢社会が進む中、高齢者が悪質商法のターゲットにされないよう早急な対応が必要である。また、18歳から19歳を狙ったマルチ被害の増加が予想される。これらの被害に対処するために、国に対し、次のような特定商取引法の改正を行うよう貴市議会として意見書をあげていただくよう請願するもの。

1．訪問販売や電話勧誘販売について、消費者があらかじめ拒絶の意思を表明した場合には勧誘してはならない制度とすること及び事業者の登録制を導入すること。

2．SNS等のインターネットを通じた通信販売の勧誘等につき、行政規制・クーリング・オフ等を認めること及び権利を侵害されたものはSNS事業者等に対し、相手型事業者等を特定する情報の開示を請求できる制度を導入すること。

3．連鎖販売取引について、国による登録・確認等の開業基礎性を導入すること及び規制を強化すること。

■請願者 兵庫県弁護士会　会長　中上　幹雄

■紹介議員 廣内　孝次　議員
原口　育大　議員

■主な質疑 **問** 淡路島内において、マルチ取引などの被害はあるのか。
答 日常的におきている。

■議決結果 賛成多数で、採択。

■意見書提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣など

市政を問う

～より良い南あわじ市へ～

３月２日、３日、６日、８日の４日間にわたって、議員16人が一般質問を行いました。

なお、市ホームページでさんさんネットで放送した「一般質問」の番組を動画配信していますので、ご覧ください。

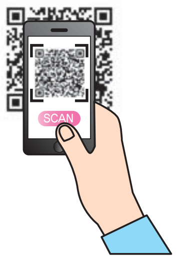
閲覧方法 「市のホームページ」→「南あわじ市議会」→「録画放送」→「一般質問の録画配信」

議員名	質問内容	ページ
印部 久信 （代表質問）	●施政方針	14
久米 啓右 （代表質問）	●施政方針 ●超高齢化社会の克服 ●地域の資源を生かした地元産業の活性化 ●「対話と行動の行政」の実現によるまちづくり	14
吉田 良子 （代表質問）	●持続可能な開発目標にむけて、施政方針から	15
原口 育大 （代表質問）	●人権 ●施政方針	15
阿部 守 （代表質問）	●施政方針	16
廣内 孝次 （代表質問）	●施政方針	16
蛭子 智彦	●給食費の無償化 ●ゴミの減量化、資源ゴミの売却、ゴミステーション事業 ●偉人教育 ●（広田地域のいくつかの課題）	17
大江 幸司	●陳情書並びに要望書等の重み	17
谷口 博文	●一次産業の現状と課題 ●（観光振興） ●（市営住宅） ●（エネルギーの自給率） ●県道、市道の道路改良工事	18
蔭山 順子	●施政方針	18
長江 和代	●阪神・淡路大震災の教訓・課題とトルコ・シリア大地震の支援 ●物価高騰における支援 ●（新型コロナ）	19
木場 徹	●空き家対策 ●瓦産業の振興策 ●観光振興 ●（人口減少・少子化対策）	19
中村三千雄	●鳥獣対策全般	20
熊田 司	●（デジタル化の利用） ●福祉 ●子育て ●産業 ●（教育）	20
北条志津子	●道路整備・環境整備 ●防災対策 ●（協定締結）	21
土井 巧	●地区公民館の改修は ●（新型コロナ感染防止対策） ●学校現場の要望 ●施政方針	21

（ ）書きの質問については、掲載しておりませんが、録画映像でご覧いただけます。

QRコードからアクセス！

スマートフォンやタブレット等で、質問議員のQRコードを読み取ると、直接一般質問の録画映像をご覧いただけます。



※動画の再生には別途通信料がかかる場合があります。

議決結果一覧

■全議員賛成の議案

（欠席者は除く）

提出者		議案名	議決結果
市長	令和4年度補正予算	一般会計補正予算（第８号）	原案可決
市長		介護保険特別会計補正予算（第２号）	原案可決
市長		産業廃棄物最終処分事業特別会計補正予算（第１号）	原案可決
市長	令和5年度当初予算	土地開発事業特別会計予算	原案可決
市長		産業廃棄物最終処分事業特別会計予算	原案可決
市長		国民宿舎事業特別会計予算	原案可決
市長		下水道事業会計予算	原案可決
市長		広田財産区特別会計予算	原案可決
市長		福良財産区特別会計予算	原案可決
市長		北阿万財産区特別会計予算	原案可決
市長		沼島財産区特別会計予算	原案可決
市長		公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長		特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長		定年前に退職する意思を有する職員の募集及び認定等に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長		大学入学奨励金支給条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長		行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長		地域集会施設条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長		消防団条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長		手数料条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長		国民健康保険条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長		淡路ファームパークイングランドの丘条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長		市営特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長		公の施設の指定管理者の指定期間の変更（神道公会堂）	原案可決
市長		辺地に係る公共的施設の総合的な整備計画の変更（吉野・惣川・黒岩・白崎・来川辺地）	原案可決
市長		財産の譲与（神道公会堂）	原案可決
市長		字の区域の変更（湊地区）	原案可決
市長		市道路線の認定	原案可決
市長		灘黒岩水仙郷施設整備工事請負変更契約の締結	原案可決
市長		個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長		国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長		介護保険条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長		灘黒岩水仙郷外構整備工事請負契約の締結	原案可決
市長		損害賠償額の決定及び和解	原案可決
市長		固定資産評価審査委員会委員の選任	同意
市長		固定資産評価審査委員会委員の選任	同意
市長		固定資産評価審査委員会委員の選任	同意
市長		固定資産評価審査委員会委員の選任	同意
市長		教育委員会委員の任命	同意
市長		人権擁護委員候補者の推薦	適任
市長		人権擁護委員候補者の推薦	適任
議会運営委員会		市議会の個人情報の保護に関する条例制定	原案可決
総務文教常任委員会		消費者被害を防止、救済するため特定商取引法の抜本的法改正を求める請願書	原案可決
総務文教常任委員会		「特定商取引法平成28年改正における５年後見直しに基づく同法の抜本的改正」を求める意見書	原案可決
議会運営委員会		市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決

■賛否の分かれた議案

議長は表決に加わらない。（○は賛成、×は反対、※は退席）

提出者		議案名	議決結果	大江 幸司	熊田 司	阿部 守	谷口 博文	印部 久信	土井 巧	蔭山 順子	久米 啓右	原口 育大	中村三千雄	吉田 良子	北条志津子	廣内 孝次	長江 和代	木場 徹	蛭子 智彦
市長	令和5年度当初予算	一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
市長		国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×
市長		後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×
市長		介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×
市長		火葬場条例の一部を改正する条例制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	※	○	○	○	○	○	○
市長		障害者見舞金支給条例の一部を改正する条例制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×
市長		敬老祝金支給条例の一部を改正する条例制定	原案可決	※	○	※	○	※	※	×	○	○	○	×	※	※	○	○	×

会派代表質問

市民連合クラブ　印部　久信　議員

施政方針について

問　令和5年度予算における市長の思い入れ施策は。

答　全てであるが特に高齢者元気活躍事業、子育てでのアフタースクール事業、水仙郷と鳴門岬周辺整備事業、人形座改革、ふるさと応援便、道路除草、側溝清掃の助成、職員が一体感を持ち実現できる市民の課題に対応できる組織づくり…。

問　有配偶出生率について。

答　全国70・2%、南あわじ市74・6%。

問　令和2年の未婚率、男性25・5%女性13・7%。25歳から29歳まで平成7年男性57%令和2年72%、女性35%が54%、価値観の多様性もあるが晩婚化しているが。

答　結婚する意志が「ない」と答えた理由が家族を養っていく収入がないと言われる方が増えてきている。婚姻率を高めていく努力が必要。

問　働くシニア応援プロジェクトについて。

答　72名が就労している。午前中あるいは2、3時間と決め労働契約を結んで就労。

問　淡路人形座の運営移管について。

答　淡路人形浄瑠璃保存伝承検討委員会で出された答申では、うずのくにに移管する協議を進めている。

問　資源循環型社会の推進メタン発酵の進捗は。

答　計画処理数量一日当りタマネギ残渣24・7トン、下水汚泥6・8トン、集落排水汚泥3・8トン、漁業食品残渣0・1トン、建設予定地は福良浄化センターを想定し調整している。

会派代表質問

創世クラブ　久米　啓右　議員

「施政方針」について問う

南あわじ市がトップランナーを目指すものは何か？

答　一つ目は、高齢者の活躍の場を拡大すること。二つ目は子育て・教育の分野。学ぶ楽しさ日本一という目標に向かって邁進すること。三つ目は、観光と一次産業が融合し、双方の相乗効果でサン・セバスチャン構想を目指すこと。四つ目は市民と行政が一体となり活発なまちづくりを進めていくこと。

地域計画（旧人・農地プラン）はその実効性が問われる？

答　令和5年度から始まる地域計画について、徹底した話合いで地域の現状と課題を共有することが重要。行政の後方支援として、一点目は農林水産省との意見交換会。二点目は地域計画を見据えて優良事例の横展開や研修会の開催と県内優良事例地域への視察研修の実施。また、本市独自で地域計画策定マニュアルを作成し、地域に分かりやすい説明を行う。

地域コミュニティ力の再強化への支援は？

答　令和4年度には地域行事等再開応援事業を展開した。令和5年度は、自治会加入促進事業を創設し、自治会加入促進に取組む自治会に対して費用の助成を行う。また、地域の担い手づくり事業では、若者世代が主体になり若手世代等の参画を求めて実施をする地域住民交流事業に係る費用を助成する。

会派代表質問

日本共産党南あわじ市議団　吉田　良子　議員

市民、事業者への生活応援策は

問　基礎自治体の枠割は、「住民の福祉の向上」となっている。子ども、重度障害者の医療助成は所得制限があり、対象とならない世帯は。

答　無償化の対象外は、子ども医療費で878人、14%。

問　所得制限の撤廃はどうか。

答　適切な制限をする。

障がい者団体から要望のグループホームの増設は

答　市内の施設数は少ない、今後の計画で考えたい。

問　障がい者の就労支援などの取組は。

答　就業、生活支援センターなどで検討している。

新年度の国民健康保険税はどうか、引下げが必要ではないか

答　所得状況を踏まえ、考えていきたい。

問　国保の子どもの均等割の軽減は。

答　県下で保険税の統一の中では難しい。

酪農家への支援策は

答　酪農家が減少する恐れがある。動向を確認し、取るべきタイミングで必要な対策の考えは持っている。

新年度の物価高騰対策は

答　国、県の施策を踏まえ市民、事業者へ必要な時に必要な措置の考え方で対応する。

平和教育の取組は

問　ロシアのウクライナ侵略で平和の大切を考える絵画の募集などは。

答　総合的に判断したい。

その他、生理用品を学校のトイレ、教育施設に設置、パートナーシップ、ファミリーシップ制度を質問した。

▲物価高がとまらない卵と油

会派代表質問

ゆづるはクラブ　原口　育大　議員

パートナーシップ宣言について

問　全国的な広がりを見せているが、条例制定を前向きに進めてはどうか。

答　男女共同参画策定委員会の中で指摘を受けており、検討する。

淡路人形座の在り方について

問　保存伝承検討委員会の答申では「株式会社うずのくに南あわじ」と移管するための協議を行い、移管後の行政支援の在り方として、人形座の運営が過度な負担とならないよう財政的支援をするとしている。財務状況は正確に把握する必要があり、そのためには市の出資比率を50％以上にし、市の監査と議会の監視を義務づけることが必須だと思うがどうか。

答　市の関与を強くすることが、経営の自由度を阻害しないか慎重に考えるべきである。

問　自由に任せるのと監督は別問題であり、出資比率を50％以上にすることは任せるための条件だと思う。

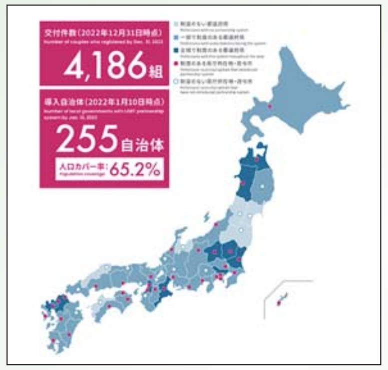
酪農振興について

問　事業継続なり事業承継するためには、立地適正化を考えるべきでないか。

答　環境整備ということで畜産団地も考え方の一つかと思う。

問　籾米サイレージ飼料が注目されている、粗飼料のWCSと濃厚飼料の籾米サイレージのベストミックスが必要だと思うがどうか。

答　SGS構想を作っており、令和8年度で28ヘクタール程度の作付けを目指している。



▲渋谷区・虹色ダイバーシティ全国パートナーシップ制度共同調査

会派代表質問

誠道クラブ

阿部　守　議員

学校の部活動は無くならない！

問 部活動の地域移行構想の現在の進捗状況はどうなっているのか。

答 スポーツ庁・文化庁からの方針を受け、教育委員会の中で、課を超えた連携を進めている。これまでの取組としては、中学1・2年生の生徒、小学校6年生に対してアンケートを取り、また体育協会・文化協会に所属するサークルの皆さんにもアンケートを取り、部活動の地域移行協議会を発足させた。

問 これは一体誰のための改革なのか。

答 子供ファーストの観点にたって、スポーツや文化団体、保護者の協力をいただきながら学校や地域が協働・融合した形で環境整備をしていく。

問 部活動の地域移行、実際この南あわじ市で実現するのか。

答 実現させることは考えていない。実現できるところからやっていく。

問 先生が現在やっている部活も、このままずっとあるのか。

答 学校において、部活動をやりたい子供がいれば部活動はそのまま続ける。

▲時計が止まった南淡中学校

南淡中学校校舎大時計の早期修繕を！

問 南淡中学校の大時計が半年前から落雷の影響で止まったままだが、いつ修繕するのか。

答 令和4年度に実施設計が済んでいるので次年度に修繕予定。

その他、施政方針全般について質問しました。

会派代表質問

絆

廣内　孝次　議員

施政方針について

問 高齢者等元気活躍推進事業の状況は。

答 おもいやりポイント制度は登録311人、施設は63施設、商品券の使用できる店は110店舗、活動者数は5898人、総活動時間は4793時間、ポイント付与は300万ポイント弱。働くシニア応援プロジェクトは事業者が35社、就労されたシニアは72人。

問 人口減少の中、保育所、学校等の将来展望は。

答 保育所については令和5年度に具体的な検討に入る。学校については方向性を検討中。

問 淡路島博、仮称「いのち輝く島」を開催とは。

答 大阪・関西万博に合わせて、淡路島の良さを堪能できる多彩で魅力的な地域の取組の情報発信を行い、誘客を促進するもの。

問 ひょうごフィールドパビリオンとは。

答 万博に向けてSDGsの観点を踏まえて、兵庫県が各地域の特色や特産品を生かした体験プログラムなどを認定し、地域の魅力を国内外に発信するもの。

問 道路除草・側溝清掃助成金の適用される範囲は。

答 申請者は自治会、来年度試行的に実施する。

問 自治会への加入促進に係る取組の支援とは。

答 チラシの作成、交流事業の実施に助成など。

問 老人クラブの活性化は。

答 役員のなり手不足の解消として書類の作成支援をしている。

日本共産党南あわじ市議団

蛭子　智彦　議員

学校給食費の無償化を

問 全国で学校給食費の無償化が進んでいるが、南あわじ市の考えは？

答 保護者に負担を求めるものと思っている。

問 完全無償化には1億5千万円必要だが、5千万円程度を使って効果を見てはどうか。

答 現在給食に対して3億円かかっている。議会で無償化の声は聞くがそれ以外にお話はきていない。

問 署名などの声が集まればさらに検討してもらえると理解する。

ゴミステーション管理者にゴミ袋配布を

問 資源ゴミの売却が水俣市に比べ少ない。原因は？

答 資源ゴミの輸送料が必要で経費がかかっている。

問 売却先も検討し、売却料収入を増やすべき。

答 今後研究する。

問 ゴミステーションの管理に住民は苦労している。水俣市のように何か還元できないか。例えばゴミ袋の配布とか。

答 今後検討したい。

すぐれた先人、偉人の功績を学校で学ぼう

問 市にはすぐれた功績を持つ偉人と呼ばれる方が大勢いる。そのうちの松帆出身で大内兵衛という方がいるが、副市長はご存じか。

答 マルクス経済学の学者で東大の教授であった。

問 学校に碑文があるが子ども達はおろか先生方もその人を詳しくは知らない。各地の偉人について掘り起こし、学校で教えてほしい。

答 本も作り、努力しているところ。

大志クラブ

大江　幸司　議員

陳情書並びに要望書の重みについて

問 市に対して個人・自治会等から陳情書が多数寄せられると思うが、南あわじ市の住民は、誰もが平等な行政サービスを受ける権利があると思う。

福良地区では、巨大防波堤工事に11億円ものお金をかけて、30年以内に来ると言われている南海トラフ大地震に備えている。志知地区は、5年か10年以内に1回浸水する台風がやってくるのに怯えている。この間、やっと浚渫工事をやってくれた。事業費は何百万円だと思うが、台風のときに浸かる県道がある。平等とは思えない。

答 要望を出したら、すぐに出来るような内容の物もあれば、全く皆さんの要望を同じように扱ってやっていけるかというと、なかなかやっていけない部分もある。

問 市の危機管理の欠如やいう言い方をしたらいかんのか分かれへんですけど、まだ約束を守らず、工事の延期になっても説明を行わない等の説明責任の重大さとともに、住民への不信感を与えていると思う。市としての信頼回復を行っていただきたい。公務員とは社会の土台づくりを仕事とし、公共サービスを実行する職員のことであり、何事も誠意を持って対応していただき、陳情書・要望書の重みを感じてほしい。

誠道クラブ　谷口　博文 議員

農林水産省の南あわじ市内の一次産業の支援の施策について

答　国、県及び市での支援策は、新規就農、認定農業者、農業女子、経営所得安定対策、又中山間直接支払に加えて肥料高騰対策など実施している。水産に関しては、漁獲共済、漁船保険の助成、水産資源増大事業、アオリイカ、サザエ、アワビ、ワカメ種苗生産試験事業、藻場造成試験事業などを支援している。酪農に関しては、耕畜連携の中で濃厚飼料の支援、学校給食で淡路島牛乳を使っている。

問　大日川の改修事業計画は。

答　令和4年度、地元説明を実施、令和5年度に事業着手を予定している。令和5年度から、用地買収、地権者と協議を進め完了した所から工区を分けて並行的に工事も着手して行きたい。

問　市道津井伊加利線の道路改良計画については。

答　令和4年度用地買収に向けて、地権者と協議を進め、令和5年度から測量及び実施設計にかかりたい。

問　県道御原橋から西淡中学校までの工事計画は。

答　県道、福良岩屋線の拡幅改良は、現在孫太橋から湊交差点までの工事は令和5年度に一応完了予定と聞いている。それが完了した後に引き続き御原橋北詰交差点から西淡中学校入り口の松帆交差点までの間を改良すると聞いている。

その他、低地対策、内水対策、観光振興、市営住宅などについて質問した。

▲畜産共進会の風景

市民連合クラブ　蔭山　順子 議員

子育て世帯の支援体制の充実を！

問　現況の産婦人科医確保の見通しは。

答　全国的な産科医不足、島内の出生数から考えて淡路医療センターの産科医を充実させることが現実的。島内3市共通の課題として毎年県への要望は継続していく。

問　妊婦検診の無料化、出産祝金の増額等、インパクトのある施策を要望。

答　国が掲げる「異次元の少子化対策」の具体化に向けて、子育て施策の大幅な拡充ということが想定される。今後よく調べて分析もしながら施策を検討したい。

空き家等対策計画について

問　阿万地区で地域独自の空き家対策の取組みをしているが、お試し住宅としての改修費用の補助は。

答　想定していない。

問　既に移住してきた人には手厚い支援や助成があるようだが、空き家対策と移住とを一緒に考え、地域住民が移住者を迎え入れて、お互いに共存できるようなコミュニティができたら、地域の活性化に繋がるのでは。

答　おっしゃる通り。

地域文化の振興について

問　ユネスコ無形文化遺産に登録された「阿万風流大踊小踊」の保存伝承のあり方の検討の内容は。

答　文化芸術保存伝承補助金を毎年助成。文化庁の地域文化財総合活用推進事業の補助も予定。保存伝承については、地元と十分協議しながら、行政として側面から支えていく。

その他、公共交通について質問。

▲市役所前に掲げられた懸垂幕

創世クラブ　長江　和代 議員

南海地震の発生が危惧されている

問　私達の地域では、南海トラフ沿いでM8以上の南海地震発生が危惧されている。ハザードマップの配布と説明会以外でどのように取り組んでいるか。

答　自主防災組織を立ち上げて役割分担・学習会、特に訓練等をし、知識と意識を持っていただている。また発災後20～30分での行動が重要と考えている。

低地の松帆の水害時の対応は

問　水害時に通行不可の道路があるがどのように対応しているか。

答　歴代の職員の中で通行不可の場所が受け継がれており、災害時には市道は市職員がバリケードをもっていき設置している。

一次産業への支援について

問　飼料高騰による酪農家の窮状に対する補助はどうなっているか。

答　生乳1ℓ当たり2円の補助金を出している。情報収集をしながら隙間を埋めていくような支援を考えていきたい。

バイオメタン発酵施設について

問　国も肥料高騰に対して下水汚泥を農業向けの肥料としても活用する指針を示したが当市でも計画しているか。また他の自治体では無料配布しているがどうか。

答　現行のバイオ施設も稼働し、一部は農地に還元している。当然無料ではなく有料である。

ほかに中学入学時の祝金、新型コロナ、学校でのマスク、黙食について質問した。

▲南あわじ市ハザードマップ

創世クラブ　木場　徹 議員

空家対策について

問　危険空家が市道、県道に隣接する場合は。

答　安全に通行できる様にするのが道路管理者の責務である。

問　相談窓口に行ってもカラーコーンを置いて済ましているが。

答　不十分な場合は緊急措置、落下物防護ネットを考えている。

瓦産業の振興について

問　燃料高騰対策では、洲本市は会社に10万円、5万円の対策をしているが、南あわじ市はやっていないのか。

答　全体で18件270万円程度出ている。

問　市の建物に積極的に瓦の利活用はどうか、市長。

答　予算がつき設計者が決まれば回ってほしい、業界の自主努力がまずありだと思っている。

問　県では、県産木材を使った家づくりを応援しており、この事業に淡路瓦を組入れ出来ないか。

答　県産粘土瓦を使用した場合に還元助成額が上乗せされる措置を講じていただく様に県へ要望を含め提案をしたい。

観光振興について

問　大鳴門橋自転車道の完成予定年度は。

答　令和9年度完成予定。

問　周辺の道路に利用者が流れ込む事が想定されるが、これ以上自転車が増えると地元民の生活に支障があるが道路整備は考えているか。

答　危険な状態についてはサインをしっかり明示と非常に狭い箇所、特に危険で見通の悪い所は改良し拡幅する。

その他、人口減少・少子化対策の体制整備や対策の再構築について問うた。

▲和形黒いぶし瓦

ゆづるはクラブ
中村三千雄 議員

鳥獣対策全般について

問 急増する沼島地域の対策は。

答 調査用定点カメラ30台を設置して、生息確認をして捕獲に注視して取り組んでおり5年度も実施して行きたい。

問 市内狩猟者は138名、70才以上が約3割の現状をどう思うか。

答 若い世代の後継者を育てていく作業を不断の努力をしていく事が大事であると思う。

問 年間約6200万円の対策事業の中で、地域ぐるみ集落ぐるみの檻の補助の報告に一年に一回の見回り報告の提出を義務付けては。

答 事業の効果と確認は必要であり、効果や見回り体制ができているか確認をする。

問 森の再生と鳥獣が住める環境づくり、人災にかかわる土砂災害防止対策が必要であると思うがどうか。

答 非常に示唆に富んだ提案だと思う。森林については環境税のことも何らかの形のものを考えていきたい。

問 鳥獣対策は南あわじ市だけではなく淡路全体の撲滅対策として、三市連携し常に考えていき島全体としてやるべきではないか。

答 鳥獣害は境界はない。洲本農林事務所も入って、猟師、猟友会の協力をえながら、難しい面もあるが、それをのり越えていかなければと思う。

▲令和４年11月沼島での状況

南あわじ市公明党
熊田　司 議員

障がい者の雇用促進を

問 障がい者雇用促進法では、国や自治体の障がい者雇用率を2026年7月に現行の2.6%から3.0%に、企業では、2.7%に引き上げることになっている。市の取り組みは。

答 本市においては、現在の法定雇用率というのが、2.7%半ばで、現在の基準は余裕を持って満たしている。都合でおやめになったり、体調が悪化したりいろいろなケースが考えられる。引き続き余裕を持って満たすことができるようにしっかりと計画的にやっていきたい。

問 各企業に障がい者雇用率の向上に向けて、周知、斡旋をどのように考えているか。

答 市内で障がい者雇用率が適用される企業は限られているが、適用されない企業についても障がい者雇用には取り組んで頂きたい。ハローワークや商工会、また障がい者就業・生活支援センターと連携しながら、企業への周知・理解促進に取り組みたい。

使用済み紙おむつの保育所での処分を望む

問 厚労省では、保育所等において使用済み紙おむつの処分を行うことを推奨するという通知を出した。当市では、どのように対応するつもりか。

答 紙おむつの保育所での処理については、保護者や保育士の負担軽減、衛生面での改善につながるので、実施の方向で検討している。

▲保護者と保育士の負担軽減を

絆
北条志津子 議員

安全安心なまちの道路整備と環境整備を

問 道路整備が改善された主な箇所と途中路線は。

答 完成路線は湊伊加利線、神代40号線の拡幅。三原志知27号線等の改良。令和4年度途中は大榎列小長田線、八木2号線等。調査測量設計路線は市5号線、賀集12号線、阿万88号線等の7路線。令和5年度は津井伊加利線等に着手。

問 立石新庄線の整備状況は。

答 4割程度終わっている。令和5年度も拡幅の検討をしていく。

問 通学路、交差点、危険箇所等の標示・標識の明確化は。

答 路側線等は約14キロ。中央線は約0.7キロ。横断歩道カラー化は4ヶ所で実施。小学校区等のグリーンベルトは令和5年度完了予定。

問 西川橋東詰交差点ローソン八木前の信号機設置進捗状況は。

答 予算化に向け協議を進めている。

問 河川整備の進捗状況は。

答 県と調整し庁舎前を含め、さんゆ〜館付近、本四高速手前までの樹木伐採を集中的に実施。

問 老朽化した自転車置場の整備状況と方向性は。

答 自転車の所有者の特定や処分等の準備は随時進めている。撤去方向で検討。

防災対策の強化を

問 災害から身を守るための津波タワーが必要では。

答 避難タワーは考えていない。避難所を増す。

問 避難場所、避難所、避難路の標示等は蓄光標識、アイコン標示なのか。

答 蓄光式の路面表示板、ポイントライト、避難路カラー舗装等にしている。

▲危険箇所の西川橋東詰交差点ローソン八木前

市民連合クラブ
土井　巧 議員

神代公民館改修の進捗状況と今後の計画は

問 福良公民館改修費用は。

答 当初契約金額は3億8280万円。

問 令和4年度当初予算における公民館改修計画は。

答 中央公民館改修工事実施設計7300万円、神代公民館は700万円。

問 神代の現在までの執行状況は。

答 耐震診断、補強計画の策定、石綿含有試験調査、地盤調査のボーリング調査は完了している。実施設計の入札予定が一件残っている。

問 改修が遅れた理由は。

答 市の方針として新築をやらないということであった。地元との協議の結果、公民館敷地内駐車場に平屋で建築するということで同意した。

問 令和5年度の当初予算に計上されていないが。

答 補正予算対応でお願いしたい。

小学校水泳授業で民間プール活用試行

答 令和5年度は五校で試行。プールの運営維持だけでなく老朽化に伴う改修費の削減につなげる。

問 最近では神代小のプール改修済み、阿万小プール予算化とあるが。

答 全部の学校が民間業者に頼ることはできない。

問 移動に時間がかかるのが大きな課題と思う。民間プールとの併用で計画的に進めてほしい。

その他、通学路の安全確保、学校の空調設備の更なる設置、トイレの改修、スクールサポートスタッフ等の継続配置を要望した。

▲オニオンに横断歩道（神代地区）

一般質問

総務文教常任委員会

〈1月25日・2月20日〉

▼移住・定住施策

問　移住・定住施策の利用者が事業について知ったきっかけは何か。

答　半分程度が市の広報やホームページ、あとは、ハウスメーカーなど。

問　反省点を踏まえて来年度どのようにしていくのか。

答　戦略チームをつくり、事業の見直しをしながら、今後3年程度は重点的に取り組む。

▼ふるさと納税

問　令和4年度の寄付額の見込みは。

答　令和4年度の見込みとしては18億円を少し超える程度になる。

問　宣伝を工夫してまだまだ伸ばすことができるのでは。

答　広報については重点的に取り組んでいるが、自治体の数も多く、苦戦している。寄付額を伸ばすことは事業者支援につながるので、力を注いでいきたい。

産業厚生常任委員会

〈1月23日〉

▼市内の公園

問　子ども議会で、よく公園の質問が出るが、子どもは公園そのものより遊具がある場所が欲しいのではないか。

答　どこの公園にどんな遊具があるのかホームページでお知らせしたい。その中で、偏っていれば検討していきたい。

▼漁師プチ体験

問　漁師プチ体験事業は、今までもやっていたのか。

答　就業体験は、全くやっていなかった。漁業者の減少が著しく、新たな視点でモニターツアーから始めた。今後、中身を充実していきたい。

●南あわじ市斎苑「桜花の郷」への管内調査

2月16日に新火葬場の現地調査を行った。

●酪農関係者との意見交換会

2月16日に市内の酪農関係者との意見交換会を開催した。

飼料等の高騰や後継者問題について、改めて現状の厳しさを認識した。今後の酪農振興につなげていく。

▲酪農関係者との意見交換会（2月16日）

第119回 南あわじ市議会臨時会日程（5月）

	日　時	会　議　内　容　（予定）
第1日	5月18日(木)午前10時	1．議案上程（説明、質疑、委員会付託）
第2日	5月29日(月)午前10時	1．付託案件委員会審査報告(質疑、討論、表決)
委員会	5月18日(木)議員協議会終了後	**総務文教常任委員会**（付託案件の審査）
	5月19日(金)午前10時	**産業厚生常任委員会**（付託案件の審査） ※議案が上程された場合

第120回 南あわじ市議会定例会日程（6月）

◆開会はすべて午前10時～

	会 議 日	会　議　内　容　（予定）
第1日	6月1日(木)	1．条例案上程（説明、質疑、委員会付託） 2．令和5年度一般会計補正予算案上程（説明、質疑、委員会付託） 3．その他の案件上程（説明、質疑、委員会付託）
第2日	6月12日(月)	1．一般質問
第3日	6月13日(火)	1．一般質問
第4日	6月16日(金)	1．一般質問 2．追加議案上程（説明、質疑、委員会付託）
予備日	6月19日(月)	
第5日	6月27日(火)	1．付託案件委員会審査報告（質疑、討論、表決）
委員会	6月21日(水)	**総務文教常任委員会**（付託案件の審査、所管事務調査）
	6月22日(木)	**産業厚生常任委員会**（付託案件の審査、所管事務調査）

5月の委員会等日程

委 員 会	日時・場所	内　容
議会運営委員会	5月11日(木) 午前10時 委員会室	第119回市議会臨時会について
	5月25日(木) 午前10時 委員会室	第120回市議会定例会について
総務文教常任委員会	5月18日(木) 議員協議会終了後 委員会室	付託案件の審査
	5月22日(月)～5月24日(水)	管外調査（沖縄県那覇市、名護市、宜野湾市）
産業厚生常任委員会	5月15日(月)～5月17日(水)	管外調査（山形県尾花沢市、宮城県栗原市、石巻市、名取市）
	5月19日(金) 午前10時 委員会室	付託案件の審査 ※議案が上程された場合
議会広報広聴常任委員会	5月11日(木) 議会運営委員会終了後 委員会室	広報セミナー等について
議員協議会	5月18日(木) 本会議終了後 議員協議会室	「南あわじ市議会基本条例運用基準」の改正案について

一部事務組合などの議会報告

令和5年1月～3月

兵庫県後期高齢者医療広域連合

▼第1回定例会〈2月21日〉

令和5年度一般会計、特別会計予算などを可決。請願「75歳以上医療費窓口負担2割の中止と保険料軽減特例措置の復活を国に要請すること」は賛成少数で不採択。吉田良子議員は、長寿健康増進事業について質問した。

淡路広域行政事務組合

▼第1回定例会〈2月17日〉

令和4年度一般会計補正予算（第1号）、令和5年度一般会計予算など全11議案を可決した。

▼第2回臨時会〈3月29日〉

淡路広域行政事務組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定など全3議案を可決。副議長に高島久美子議員（洲本市）を選出。

淡路広域消防事務組合

▼第1回定例会〈2月17日〉

一般会計予算地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定など5議案を可決。

▼第2回臨時会〈3月29日〉

会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定など2議案を可決。

淡路広域水道企業団

▼第1回定例会〈2月17日〉

令和5年度一般会計予算など全5議案を可決。

▼第2回臨時会〈3月29日〉

淡路広域水道企業団職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例制定など全2議案を可決。議長に笹田守議員（洲本市）、監査委員に中野睦子議員（洲本市）を選出。

南あわじ市・洲本市小中学校組合

▼第1回定例会〈2月22日〉

議長に蛭子智彦議員を選出。一般会計補正予算（第7号）と令和5年度予算（総額1億6504万1千円）を審議し可決した。木元寿夫議員（洲本市）と近藤昭文議員（洲本市）が一般質問した。

洲本市・南あわじ市衛生事務組合

▼第1回定例会〈3月28日〉

令和4年度一般会計補正予算（第1号）、令和5年度一般会計予算など全8議案を審査し原案可決。副議長に生田進三議員（洲本市）を選出。

令和4年度議会交際費支出報告（予算70万円）

議会交際費とは、議長等が対外的な交際を行うための経費です。支出基準に基づき、支出しています。

摘　要	件数	支出額（円）
祝　金	3	35,000
見舞金	0	0
香　料	3	30,000
供　花	12	75,500
賛　助	0	0
会　費	4	60,000
その他	4	36,250
合　計	26	236,750

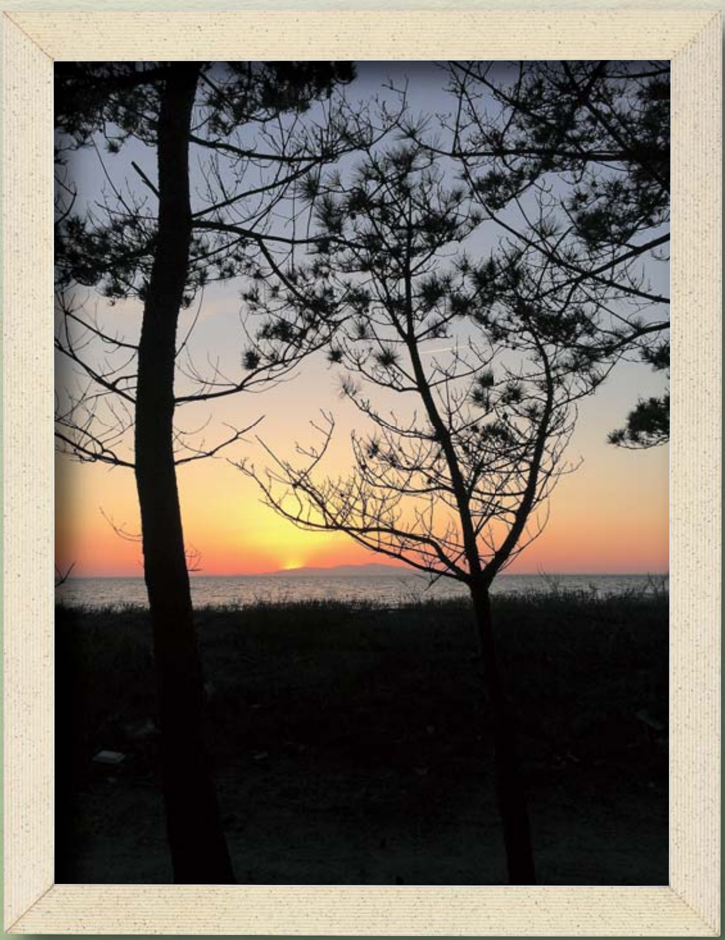
議会事務局職員の紹介

局　長　喜田　憲和
課　長　三明　耕司
係　長　田坂千佐美
主　任　磯見　俊仁
主　査　楠原　靖人
主　査　福岡　侑子

市民ギャラリー

タイトル **小豆島に沈む夕陽**

（三廉（みかど）さん 提供）

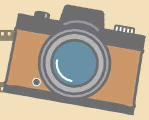


日本の夕陽百選に選ばれている慶野松原からの夕陽

（撮影場所　南あわじ市松帆）

引き続き 写真募集!!

風景・イベント等の写真をお待ちしています



これまで以上に親しまれる「議会だより」の取組として、
皆様から投稿していただく写真（風景、イベント等）・コメントを掲載するコーナーを設けています。

応募条件　応募者本人が南あわじ市内で撮影した写真のうち、他のコンテスト等への応募をしていないもの。

応募方法　住所、氏名、電話番号、タイトル、撮影場所、コメント（50字以内）を、明記の上、下記の方法でお送りください。

●Eメールの場合　gikai@city.minamiawaji.hyogo.jp
●郵送、持参の場合　〒656-0492 南あわじ市市善光寺22番地1　南あわじ市議会事務局 宛

注意事項
・掲載については、議会広報広聴常任委員会で審査決定し、採用された方には連絡を差し上げます。
・ご応募いただいた写真・データ等は返却しません。
・肖像権、登録商標の無断転用、著作権の侵害等に関するトラブルには、当市議会は一切の責任を負いません。
・掲載作品の著作権は作者に帰属しますが、当市議会がHP等で使用することができるものとします。

編集後記

新年度がスタートしました。３年も続いたコロナ禍がやっと終わりが見えてきました。さて、３月議会では新年度予算審議が、予算特別委員会を４日間行い、敬老祝金につきましても、慎重に審議し可決されました。また、代表・個人一般質問では施政方針についてたくさんの質疑がされました。また、太田議員が１月20日をもって辞職されました事を報告します。これからは、17人の議員になりますが変わらず頑張ってまいります。

最後までお読みいただきありがとうございました。（大江）

議会広報広聴常任委員会
北条志津子　吉田 良子
土井 巧　長江 和代
蔭山 順子　大江 幸司

環境に配慮した再生紙と植物油インキで印刷しております。

編集／南あわじ市議会広報広聴常任委員会
発行／南あわじ市議会　〒656-0492 兵庫県南あわじ市市善光寺22番地1　TEL.0799-43-5005　FAX.0799-43-5105
南あわじ市ホームページ https://www.city.minamiawaji.hyogo.jp　E-mail gikai@city.minamiawaji.hyogo.jp